



弁護士

赤崎 雄作  
(あかさき・ゆうさく)

〈出身大学〉  
 東京大学法学部  
 京都大学法科大学院  
 米国カリフォルニア大学  
 ロサンゼルス校ロースクール  
 (LL.M.)

〈経歴〉  
 2008年12月  
 最高裁判所司法研修所修了  
 (新61期)  
 大阪弁護士会登録  
 弁護士法人中央総合法律  
 事務所入所

〈取扱業務〉  
 会社法務、金融法務  
 渉外法務、競争法関係  
 民事法務、商事法務

1 Society5.0という言葉をご存じでしょうか。この言葉は、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)を意味する言葉であり、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。現在、我が国においては、Society5.0の基盤としての5G・光ファイバーの整備及び利活用が重視されており、様々な場所にかかるインフラの再構築に関する議論がなされている状況です。5Gの特徴としては、通信速度が非常に速いこと、遅延が少ないこと等が言われておりますが、これらは、身の回りの様々なデバイスがインターネットにつながるIoTには必要不可欠であると言われており、インフラの再構築が喫緊の課題となっているのです。

たとえば、本年6月7日に開催された高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT総合戦略本部)では、通信事業者と多様なプレイヤーとの協業による5Gの産業利用とイノベーションの促進に関する具体的な環境整備について言及されています。また、5G基地局とこれを支える光ファイバー等の全国早期展開に向けた支援、「ローカル5G」の精度化、ネットワークのセキュリティ対策とともに、円滑・迅速な社会実装に向けた産学連携の推進も提唱されています。

2 5Gインフラの整備について、中東ではどのような状況でしょうか。筆者が駐在をしていたUAEにおいても、5G技術に向けた取り組みは着実に進められています。たとえば、EtisalatというUAE最大の通信事業者においては、5G対応携帯電話が使用可能となった場合には、直ちにサービスを提供できるネットワークとインフラの整備を進めています。5G技術に対応するためには、高密度分散型アンテナシステムを利用することが効果的であると言われており、Etisalatではこの1年間で国内600台のアンテナ基地が設置されたとのことでした。

また、移動通信事業者業界団体GSM A (GSM Association)が2017年10月に公表したレポート「The Mobile Economy: Middle East and North Africa 2017」では、中東および北アフリカ(Middle East and North African、MENA)の5Gへの取り組みを含む通信事情がまとめられており、当該レポートにおいては、同地域が5Gネットワーク商用化が世界で最も早く実現する一つとして予測されています。

3 かかる分散型アンテナ基地の設置に関しては、通信事業者と土地の所有者等との間で契約を締結することとなりますが、その留意点は従来の通信事業者のインフラ設置に関するものと大きな違いはないものと考えられます。具体的には、アンテナ設置場所の特定、契約終了時の原状回復、通信事業者の許認可取得義務、対象土地への賃借権等の権利設定の禁止、対象土地への他の通信事業者への権利設定の禁止、土地所有者の賠償責任の限定、保険、対価等の条項が想定されます。ただし、これまでと比較して、アンテナ設置箇所が多くなり、通信事業者間での設置地域の重複がより多く生じることが考えられることから、対象土地への他の通信事業者への権利設定の禁止の条項については、より慎重な規定が必要にならうかと思われます。また、土地所有者は、当該アンテナが、通信事業者の公共通信に利用される可能性があり、そのような公共性を有するという観点から、土地所有者の権利が一定程度制限される可能性があることを認識しておくべきであると考えられます。

4 今回は、わが国の5G技術インフラの整備状況の概要とともに、中東における整備状況及び分散型アンテナ設置に関する留意点について触れました。情報や技術が瞬時に国境を越える今日においては、国や地域を問わず同種同様の技術が利活用されることになるため、法的な留意点についても比較的類似のものとなりやすいと言えるかも知れません。その意味で、他国における法的な留意点を知ることは、これまで以上に重要な意味を持つてくることになるのではないのでしょうか。